

会議結果（要旨）

会 議 名	平成29年度 第3回音更町介護保険事業等運営協議会
開 催 日 時	平成29年11月8日（水） 午後6時30分から午後7時50分
開 催 場 所	音更町保健センター 検診室
委 員 出 席 者	森川会長、田中委員、河田委員、小林委員、向平委員、鷺北委員、 村中委員、正保委員、藤川委員、伊藤委員、堀委員、長村委員 山田委員
事 務 局 出 席 者	古田保健福祉部長、谷川保健センター事務長、 堀田高齢者福祉課長、前田高齢者福祉課主幹、背戸田介護保険係長、 河原介護保険係主任、金谷主任専門員
議 題 内 容	1 開会 2 会議録署名委員の指名 3 議案第1号 第7期音更町介護保険事業計画の検討案について 4 報告第1号 音更町介護保険事業等運営協議会及び音更町地域包括 支援センター運営協議会の統合について
会 議 資 料	
会 議 結 果	会議録署名委員の指名 正保委員、村中委員 議案第1号 第6期期間における各種介護サービスの利用状況を解析と 各種数値を推計した第7期音更町介護保険事業計画の検討 案について説明 報告第1号 音更町介護保険事業等運営協議会と音更町地域包括支援セ ンター運営協議会は密接不可分な関係にあり、一体的で効 率的な推進を図るために統合する旨報告
出された主な意見等	○議案第1号 委 員：第7期の認定者数の推計について、いろいろな対策を取りなが らも、認定者数が増えるという積算の根拠とはどうなっている か知りたい。 事務局：積算の仕方であるが、基本的には国が示すソフトをベースに推 計している。そして、年度間や過去3年間の伸び率等を指標の 中で実態に合わせて推計値として採用している。 委 員：80人規模の特定施設を作る整備方針がある。特養待機者の解 消が狙いと聞いていたが、要介護軽度の軽い方を対象にした特 定施設であれば特養待機者を減らすことにはならないのでは。 事務局：特養の入所要件については平成27年の法改正により要介護3 以上となったため、要介護1と2の軽度の方は入所できなくな り、町内施設に入所を希望する方は大体80名くらい待機して

	<p>いると聞いているので、特定施設はその分を解消するための施設と考えている。高齢者の単身世帯は年々増加傾向にあり、要介護度が重度の特養待機者については第6期計画中に地域密着型の特養を整備しているので、第7期計画では要介護度の軽度者に対する対策を進めたいと考えている。</p> <p>委員：人口と高齢化率の推計は平成37年まで記載されているが、平成32年に特定施設が開設されることとなっているので、平成37年以降の年次においては、介護ニーズが減ると考えてよいか。</p> <p>事務局：音更町の場合は国が示すよりも高齢者人口のピーク時は遅れるものと思われるので、推計値の記載は平成37年で終わっているがそれ以降の年次も高齢化率は高く推移すると考えている。現在、介護職は求人3名に対して1名の応募と人材不足の状況にある。施設は建てたが働き手が集まらず施設を利用することができない地域もある。さらに在宅のヘルパーが施設に流れると在宅サービスを提供する人材も不足してくる。音更町では施設を単に増やすのではなく、介護サービスの需要と供給を踏まえて介護保険事業を運営していきたい。</p> <p>委員：介護保険料の見込みは計算されているか。</p> <p>事務局：現在、粗々と算定しているが、第6期と同様に5千円を切ることはできるだろうと考えている。</p> <p>委員：所得段階別保険料の説明があったが、音更町は12段階で幕別町や芽室町と同じと言われたが保険料も同じか。</p> <p>事務局：段階別が同じであって、保険料の金額については市町村により異なる。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>保健福祉部地域包括支援センター高齢者福祉課介護保険係 (0155-32-4567)</p>